

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	森田 幸一議員	1 有害鳥獣処理施設について	<p>平成20年度に菱刈地区に有害鳥獣処理施設が整備された。この施設は合併前に計画し設置した施設で、大口地区にも設置してほしいとの狩猟者からの要望がある。伊佐市で捕獲している、シカ、イノシシの令和元年度の捕獲頭数は3,006頭、2年度は3,720頭であるが、処理施設での処理頭数は元年度59頭、2年度59頭で他は埋設・焼却処理・自家用食肉である。処理施設へ持ち込めば、シカ1頭当たり6,000円、イノシシ1kg当たり500円である。農林水産省からは、鳥獣被害防止活動の一環として捕獲した鳥獣を地域資源として有効活用する観点から、①地域における捕獲鳥獣の食肉処理施設の整備、商品開発、販売・流通経路の確立などの取組を支援する②捕獲鳥獣の食肉利用のためのマニュアル作成や研修を実施するとしている。財政支援として、補助事業支援、特別交付税措置がある。これまで実態として、埋設処理が狩猟者の負担になっているので、捕獲してから1時間以内に持ち込むことが出来る処理施設があることで安心して駆除でき、捕獲意欲の向上につながり、農作物の被害の軽減になると考えている。そこで、</p> <p>(1) 菱刈地区の処理施設を活用し、一次加工処理（枝肉処理まで）に出来ないか。</p> <p>(2) 大口地区の中心部にメイン施設として、捕獲個体を含めて、二次加工まで含めた新しい施設は出来ないか。このことにより、人材の有効活用・雇用も可能となると思うがどうか。</p>	市長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	森田 幸一議員	2 菱刈庁舎の組織・機構について	菱刈庁舎の組織・機構について具体的に伺う。 (1) 菱刈庁舎を、総合支所として存続する事を市民が一番望んでいるが、新庁舎完成を見据えて、菱刈庁舎をどのような機能にするのか。具体的に行政事務の組織・機構を示せ。	市長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	前田 和文議員	1 伊佐市の観光拠点整備について問う	<p>(1) 先年示された曾木の滝周辺整備計画に変更点はないのか、明確に示せ。</p> <p>(2) 財政力のない当市はどのような対策が必要なのか具体的に示されたい。</p> <p>(3) 県・国との連携が必要と考えるが、信頼性の構築はどのような状況なのか。</p> <p>(4) コロナ禍後を見据えた取組が今発揮されるべきだと考えるが、近い将来への行動はなされているのか。</p>	市長	
		2 風力発電事業計画に対する市の基本的立ち位置について問う	<p>(1) 市長は国有林行政について経験され、我々よりも理解されていると考える。環境保全林・水源保安林のあり方の重要性について示されたい。</p> <p>(2) 山間部の農業資源を守り、水資源・田畑地形の維持は昨今の気象状況の有様を鑑みると容易なことではない。それらの災害復旧事業費用で、市財政も圧迫している中、急斜面の山林保全を最優先すべきではないか。</p> <p>(3) 風力発電計画事業者は風車近くの周辺1～2kmの範囲を地元住民として、同意を得、民意を得ることが必要と考えているようであるが、伊佐市にこの風力発電風車が建設された場合、その周辺だけではなく、建設された場所と同じ水系にある伊佐米を中心とした農業者の水利の安全確保が必要であると考えているが、市政としてどのように関わっていくのか、見解を問う。</p>	市長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	村岡 強志議員	1 交通機能の維持と高齢者の交通手段の確保について	<p>第1回定例会において高齢者の交通安全対策関連予算について質疑を行った。乗り合いタクシー及び福祉タクシーとその主な財源の過疎債についてであったが、タクシーは高齢者の交通手段として多くを担っている。そこでタクシーの現状について伺う。</p> <p>(1) タクシー業界は後継者不足であるが、現状を踏まえ5年後、10年後この事業が維持できるか、市長の率直な考えは。</p> <p>(2) タクシーが減便されることでの飲食店への影響が大きい現在のタクシーの時間帯別稼働状況について市長の見解を問う。</p> <p>(3) 高齢者の交通手段が制限されているが、市長は他自治体より優れている免許証返納への支援策をどの様に評価しているか。</p> <p>(4) 交通手段を維持する方法として福祉タクシー利用券の枚数を増やせないか。</p>	市長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	福本千枝子議員	1 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>国内での新型コロナウイルスは収束どころか、5月の連休明けから感染拡大となり再び緊急事態宣言が発令された。九州管内の全ての県で一気に増え、県内各地でも感染者が増加し、県は警戒基準を「ステージ3（感染者急増）」に引き上げ、感染拡大警報を再発令した。医療現場では限界に近づくと報道されており、早めのワクチン接種が必要となる。そこで、</p> <p>(1) 本市においてコロナワクチン接種はまず、85歳以上の高齢者から始まり、クーポン券が送付され、5月24日から17の医療機関で接種が出来るかと広報され、すでに接種が始まっている。そこで、この高齢者の方々はそれぞれ、医療機関に予約をしなければならないが、現状としてはどうか。</p> <p>(2) 接種予約が出来ていない高齢者の把握はどうするのか。また、接種期間は令和4年2月末としているが、接種をしていない方々への対応はどうするのか。</p> <p>(3) 接種区分として、次は75歳～84歳そして、65歳～74歳とある。これら的高齢者が終わると16歳以上となるが、市民全員が打てるのはいつ頃になるのか。ワクチンの供給は大丈夫なのか。</p> <p>(4) 今年は早めの梅雨となり、早くも大雨に見舞われ、昨年と同じ災害になるのではと心配した。国は大雨による避難勧告を廃止し、避難指示の一本化としたことで、避難者も増加するのではと懸念される。そこで、避難所のコロナ感染症対策は万全か。</p>	市長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	福本千枝子議員	2 自然豊かな魅力ある曾木の滝公園を指すには	<p>ゴールデンウィークの曾木の滝公園の駐車場には、多くの県外ナンバー車やバイクの集団もあり、コロナ禍で市民の警戒心は強いと感じたが、その反面自然豊かな伊佐市に来ていただいた事に感謝でもあった。そこで、</p> <p>(1) 前回3月議会で対岸の展望台や「さくら」「もみじ」の植栽も含め、県の「魅力ある観光地づくり」で採択され設計まで出来ているとの答弁だったが、なぜ前に進まないのか。</p> <p>(2) JTBから観光ツアー案内の打診があったと聞き、観光ボランティアガイドの皆さんは資料づくり等に奮闘されている。どのような内容の観光なのか。</p> <p>(3) 公園内の樹木が大きく成長し、旧曾木発電所への取り入れ口跡や滝の全景が隠れている。雑木等については専門家と相談し、伐採したほうが良いのではと考えるがどうか。</p> <p>(4) 5月の連休には新曾木大橋の対岸オートキャンプ場には大きなワゴン車が4台入り、大型テントの下でバーベキューの最中で、多くの子ども達は自転車等で遊んでいる状況。勿論、多目的広場にもワゴン車が入っており、オートキャンプに絶好の場所だと以前から提案している。トイレはあり、近くには温泉もあり、炊事棟があれば更なる集客が見込めると思うが、見解は。</p>	市長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	緒方 重則議員	<p>1 災害復旧状況と被災農家への支援について</p> <p>2 夢さくら館の施設管理について</p>	<p>昨年7月の集中豪雨により河川が増水氾濫、山野地区の田・水路など、これまで経験したことのない規模で被災した。市単独のむらづくり事業をはじめ県・国との連携により災害復旧工事が進んでいる。そこで</p> <p>(1) 被災した3河川（山野川・羽月川・井立田川）及び水田の改良復旧の内容や復旧工事の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 河川復旧工事が完了しなければ、流域の水田の植付けができないことになりすでに関係者を対象に説明会が行われた。今年、作付け出来ない水田の面積は。</p> <p>(3) 被災された農家は、昨年につき今年も収穫できず家計収入に大きく影響してくる。現状において、秋以降の飼料作物等の作付け以外に収入源がない。困窮する農家の声に対して市として支援する考えはないか伺う。</p> <p>(1) これまでも数社の民間業者と指定管理契約に基づき、運営をされてきた経緯がある。現在は、㈱カミチクが指定管理者として運営されているが業績や業務内容等を含め現状について市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 今年3月議会において、行政財産から普通財産への変更の議案が可決された。9月末で指定管理者制度として民間業者との6年間の指定管理委託契約満了を迎える。その後の施設管理はどうなるのか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	星野 元興議員	<p>1 性的少数者に配慮した制服の自由選択制について</p> <p>2 川内原発事故時の避難計画について</p>	<p>(1) 制服の自由選択制への要望は制服の自由選択制に対する生徒や保護者からの要望はないのか。現状を伺う。</p> <p>(2) 制服の自由選択制に対する市の見解はLGBTをはじめとする性的少数者に配慮した制服の導入、もしくは制服の廃止について、市の見解を伺う。</p> <p>(3) 制服の自由選択制の今後の導入予定はニーズの調査や今後の制服について考えていく検討委員会の設置などの考えはないのか。</p> <p>(1) 避難者受入れ態勢は阿久根市、出水市から最大約12,000人の伊佐市への避難が計画されている。受入れ態勢は万全か。</p> <p>(2) 伊佐市民の避難計画は福島第一原発事故では、約40キロ離れた飯舘村が全村民避難となった。伊佐市民の避難計画は万全か。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長</p>	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち10枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	柿木原榮一議員	<p>1 伊佐市の木質バイオマス発電の事業の可能性は</p> <p>2 所有者不明土地問題について</p>	<p>(1) 伊佐市の地目別面積の構成比で山林は約30%であるが、【森林の再生】を目指し、地域の資源である木材を利用した、小中規模の木質バイオマス発電の可能性はないのか。</p> <p>(2) 森林団体、素材生産者から、木質バイオマス発電の要望があったと聞いたが、どのような内容の要望か。</p> <p>(3) 林業の活性化に寄与できる方法等は考えられないか。</p> <p>(1) 所有者不明土地とは、どのように理解、定義付けされているのか。</p> <p>(2) 土地を利用していない理由と所有者不明土地の問題点は何か。</p> <p>(3) 不動産登記簿などの各種台帳で所有者の所在が判明しない土地が、災害復旧をはじめ空き家対策や耕作放棄地対策、固定資産税徴収の足かせになっているが、伊佐市の現状はどうか。</p> <p>(4) 所有者不明土地問題の解消に向けた民法や不動産登記法の改正案が3月5日に閣議決定をしたが、伊佐市の実態把握、所有者不明土地の担当部署及び担当者の育成はどのようにしていくのか。</p> <p>(5) 土地台帳に全ての共有者が記載されていない場合、共有者をどのように把握していくのか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	岩元 努 議員	<p>1 伊佐市交通インフラの充実計画は</p> <p>2 伊佐市ごみ分別の徹底強化策は</p>	<p>(1) 市内各中学校から高校進学傾向として、市外技術系高校への進学が増加している。私立高校の交通手段は充実しているが、隼人、加治木方面の公立高校への交通手段は栗野駅始発のJR肥薩線が唯一の交通手段であり、天候に影響を受けやすく運休も多いため、生徒保護者の負担が大きく不満が出ている。交通インフラの充実によって解決すべき課題である。大口ふれあいセンター発、まごし館経由でバス会社と相談し、通学時間にあわせた隼人・加治木方面の路線バスの運行は出来ないか。</p> <p>(2) 高齢者（交通弱者）の買い物、通院等の交通手段の現状は、交通手段としてタクシー、バスである。福祉タクシー利用料一部助成事業は年金生活の高齢者の負担軽減として有難い事業であるが、市の中心部と、それ以外の地域との利用格差が指摘されている。改善に向けた具体策の検討は。</p> <p>(3) 新庁舎建設チラシの配置計画で、「バス停を庁舎側へ移設し交通拠点として整備」とある。観光地である曾木の滝へのバス停を設置し、交通アクセスの充実も必要と考えるが見解は。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	岩元 努 議員	3 災害時の緊急対応は	<p>(1) 高齢者の独居世帯で車などの移動手段がない場合、避難所への距離が遠い方々への移動方法として、適切な避難方法は。</p> <p>(2) 今年は梅雨入りが早く、すでに田んぼの土手の崩壊や道路の崩落などの災害が発生して問合せが寄せられている。昨年、山野地区で発生した大規模災害復旧対応に追われ、事業者も対応できない状況である。突発的な災害対応ができず、工事着工が遅れている状況も見受けられる。迂回路がなく、毎日の通行に支障が出ている道路については、早急な復旧が望まれている。急の場合の工事について、事業者との連携・協力体制の強化を図る上で、本工事の工期に猶予を持たせるなど、臨時的・早急な対応対策について見解は。</p>	市長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	庵下 信一議員	<p>1 「伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について</p> <p>2 菱刈庁舎の存続する業務の内容と基本設計に基づく新庁舎の概要及び事業費について</p>	<p>(1) 平成28年3月に策定された「伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、各基本目標に平成31年度の成果指標が示されているが、実績（達成度%）と総括（検証）について伺う。</p> <p>(2) 取組の成果を点数で評価すると何点か。また、総括（検証）について市民の皆さんへの周知は、いつ・どのような方法でなされたか伺う。</p> <p>(3) 第2期の創生総合戦略が令和2年3月に策定され、スタートして1年が経過したが、進捗状況について伺う。</p> <p>(1) 菱刈庁舎の存続する業務の内容について伺う。</p> <p>(2) 基本設計を基に新庁舎の概要と総事業費並びに各費目について伺う。（新設の庁舎面積・ふれあいセンターの転用面積、建設費・用地買収費・付帯工事費・解体費・設計費・外構工事費・備品費・移転費用など）</p> <p>(3) 3月定例会でお願いした庁舎完成までのロードマップについて伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち14枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	今村 謙作議員	<p>1 新型コロナウイルス感染症対応対策について</p> <p>2 コロナワクチンについて</p>	<p>(1) 3月議会で議決された、伊佐市事業継続緊急支援事業2,000万円の予算で、市内の飲食店をはじめとする宿泊業やタクシー業者等に最大10万円の支給があったが、実績を伺う。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症がまだまだ続き、終息が見えない状況であり、市内の飲食店の経営は非常に危機的な状況にある。支援対策として今後、何か補助等の施策は考えていないか伺う。</p> <p>(1) 伊佐市のコロナワクチン接種はスムーズに行われていると思う。市報等でも案内があり、市民の方々も接種については理解されていると思うが、今一度、今後の計画について詳しく説明されたい。</p> <p>(2) 接種による副反応や重篤な事案等の報告はないか。また、キャンセルや余ったワクチン等についても報告は無いか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち15枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	遠矢 寿子議員	1 伊佐市男女共同参画基本計画について	<p>(1) 第一次伊佐市男女共同参画基本計画巻末に掲げた数値目標の、計画最終年度における実績を示せ。(資料配布希望)</p> <p>(2) 数値目標項目の一つである「審議会等における女性登用率」について ア 現在、女性委員がゼロまたは1名の審議会等はいくつあるか、名称とともに示せ。(後日、第一次計画初年度及び最終年度における全審議会等の男女別委員数及び女性割合の資料配布希望) イ 10年かけて女性登用率を上げられなかった理由と、第二次計画での取組をどう考えているか。</p> <p>(3) 現在の伊佐市の課長職に占める女性割合及び審議会等における女性登用率について、男女共同参画行政推進会議会長である副市長の見解を伺う。</p> <p>(4) 以上を踏まえた第一次伊佐市男女共同参画基本計画の簡潔な総括(成果と課題)を伺う。</p>	市長 副市長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち16枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	遠矢 寿子議員	2 「生理の貧困」と学校トイレの生理用品設置について	<p>(1) コロナ禍で経済的に困窮する人が急増したことを背景に、昨年秋頃から生理用品の購入が困難な状況に陥る「生理の貧困」の話題が各メディアで報じられている（「NHKクローズアップ現代+」など）。3～4月には国会でも取り上げられ、経済的に困窮している女性を支援するために、全国各地の自治体で防災備蓄品の無償配布等が行われている。</p> <p>一方、コロナ禍以前から「子どもの貧困」が社会問題化しており（鹿児島県では貧困率12.9%、母子家庭では39.7%、2017年の県調査）、子どもが置かれる状況はますます厳しくなっている。</p> <p>そこで、伊佐市男女共同参画基本計画・重点項目4「生涯を通じた男女の健康支援」にある「女性が身体的、精神的、社会的に良好な状態を保つことができるよう、生涯を通じた健康を支援するための総合的な取組を進める必要」に基づき、東京都品川区や神奈川県大和市の取組にならない、トイレットペーパー同様に学校のトイレの個室に生理用品を設置してはどうか。（資料1, 2）</p>	教育長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち17枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	遠矢 寿子議員	3 子どもたちが受験する各種検定料の補助について	<p>(1) 伊佐市内の学習塾経営者から「子どもたちが受ける検定の受験料が年々値上がりし、とうとう『こんな値段では親にお金を出してと言えない、もう受けるのは諦める』と言う子が出てきた、橋本市政は教育に力を入れると聞いている、検定料の補助を市に検討してもらえないか。」という相談があった。確かに、学習塾に通わせる経済力のある家庭でも、大都市や県内都市部と同額の検定料を負担しなければならないのはたいへんなことである。英検、漢検、数検をはじめとする各種検定は、学習塾に通っていない山間部の子どもでもそれほど価格の高くない問題集を使って取り組むことができる。また、学校の団体受検は公開会場よりも検定料が大幅に安いだけでなく、お互いに切磋琢磨しながら学力を伸ばす機会となりうるため、市内各学校でも行われている。学校の先生方によると、各種検定は子どもたちにとって学びの動機付けや目標になることに加え、進学や就職に当たっては調査書、履歴書等の記載事項として重要な意義を有しているとのことである。</p> <p>教育日本一を目指すまちとして、子どもにはどうすることもできない親の収入により学びに大きな格差が生じないように、また受けられるものなら受けたいが今は諦めている子どもが一人でも多く検定を受けられるよう、小中高校生への検定料の補助及び拡充ができないか。(資料3, 4)</p>	市長 教育長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち18枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	遠矢 寿子議員	4 生命に関わる行政サービスの外国語対応について	<p>(1) 4月現在で伊佐市には161人の外国籍市民がいるが、日本語を母国語としない市民が自らの命と健康、そして地域社会を守るために新型コロナウイルスワクチン接種を希望した場合、困ることなく接種が受けられるような態勢はできているか。市独自のお知らせも含めた書面の多言語対応、個別の電話予約に支障のある住民はいないか、困ったときの相談先、医療機関との連携等について伺う。</p> <p>(2) 人口約2万人、外国籍町民約400人のさつま町ではホームページが多言語に対応しており、職員が日本語で入力すれば自動的に翻訳され表示される。当市での災害避難情報伝達、避難所におけるコミュニケーションについての取組はどうなっているか。</p>	市長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち19枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	遠矢 寿子議員	5 庁舎建設について	<p>(1) 菱刈庁舎について</p> <p>ア 何課が入り、何人の職員が勤務する予定か。</p> <p>イ 庁舎の名称に変更はないか。</p> <p>ウ 菱刈図書館は菱刈庁舎内に移設するのか。 簡潔な答弁を市長に求める。</p> <p>(2) 庁舎建設の民主的過程の実現について</p> <p>ア 地方自治体にとって庁舎は究極的には誰のために存在するのか、職員か、市民か。市長の認識を伺う。</p> <p>イ 庁内には「建設課」という名称の部署があるのに、新庁舎建設を「財政課」が担当している理由を市長はどのように考えているか伺う。</p> <p>ウ 自治体の財政活動について住民に対し情報開示と説明責任を果たすことの意義について、市長の認識を伺う。</p> <p>エ 市民説明会に参加できるのは何人か。</p> <p>オ 全市民に対し配布予定のチラシには庁舎建設及びそれに付随する事業の費用について一切触れられていない。市長はこのプロセスが財政民主主義に沿うものと考えているかを伺う。</p>	市長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち20枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	武本 進一議員	1 地域猫について	<p>(1) 本市における交通事故に遭った猫の数。 ア その内、保護された数 イ 車にはねられ亡くなった猫の数 ウ 猫が交通事故に遭わないための対策について伺う。</p> <p>(2) 野良猫に対してどのような被害の報告を受けているか。</p> <p>(3) TNRの推進について本市の見解を伺う。</p> <p>(4) 猫と地域の共生を目指す地域猫活動を後押しするための取組として何が必要と考えるか。</p> <p>(5) 市民の皆様へ地域猫についての啓発と周知をお願い出来ないか。</p> <p>(6) 地域猫問題について市長の見解を伺う。</p>	市長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち21枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	久保 教仁議員	<p>1 新規重点野菜「さといも」について</p> <p>2 第12回全国和牛能力共進会への取組は</p>	<p>(1) 新規の重点野菜として「さといも」が認定されたと聞く。過剰な主食用米作付けから、国・県・市の助成を活用した転作が国の施策であり、農家所得向上にもつながる。伊佐市では現在かぼちゃ・トマト・れいし・根深ネギ・水田ごぼうの5品目が水田活用の直接支払い交付金の対象である。さといもについても同様の考え方か。</p> <p>(2) さといもの品種は。品種ごとの予定するkg単価・10a当たりの生産量や生産資材の経費、また、農家所得の見込み額など、試算されているか伺う。</p> <p>(3) JA北さつま管内では、さつま町が6haほど作付けされていると聞くが、伊佐市の現状と今後の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 来年鹿児島県で開催される「第12回全国和牛能力共進会」に向けて優秀な牛を保留するため、平成29年第4回定例会から、優良雌牛10頭・実証支援を3頭に、575千円の補助金を毎年予算組みされてきたが、その成果は。</p> <p>(2) イージーブリード（臍内留置型ホルモン製剤）の一部負担補助制度の復活を検討出来ないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち22枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
14	畑中 香子議員	1 新庁舎建設問題について	<p>(1) 規模、費用について「5月に基本設計が上がったら説明する」とのことだったが、説明がなされていないことについて、今後規模や費用について市民の意見をどのように集約するのか。パブコメや市民の声などがあれば計画を変更する余地があるのか。</p> <p>(2) 規模を縮小した計画へと変更したことは評価できる。5000～6000㎡の規模であれば現庁舎を含む他の場所に建て替えることも可能ではないのか。</p> <p>(3) 公共建築物個別施設計画によると大口庁舎の建設費用は41億500万円とされている。またふれあいセンターの大規模改修費は8億8680万円とされているが、新庁舎建設にかかる費用は総額で50億円以上かかるのではないのか。</p> <p>(4) ふれあいセンターの耐用年数は50年、経過年数は現在29年であり、大規模改修が必要であるとの検証と検討が不足しているのではないのか。</p> <p>(5) 木材価格など資材の価格が高騰しているが、これまでの試算よりもかなり建設費が膨れ上がることが予想されるのではないのか。</p>	市長	

令和3年第2回定例会一般質問

令和3年6月4日・10日・11日

(23枚のうち23枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
14	畑中 香子議員	<p>2 新型コロナ感染症対策について</p> <p>3 市民の暮らしにかかわる要望について</p>	<p>(1) PCR検査費用助成を行っているが、市販の検査キットが3000円程度で販売されていることからすれば、費用は全額助成とするべきではないのか。検査結果を把握し、感染経路把握や適切な療養指導を行うべきではないのか。</p> <p>(2) PCR検査を全市民に対して行うことや、高齢者施設入所者や医療機関での社会的検査を行い、感染を封じ込める対策を行うべきではないか。</p> <p>(3) 市独自の事業継続支援金をさらに拡充するべきではないか。</p> <p>(4) 国保税や介護保険料など減免について申請漏れはないか。</p> <p>(1) 市民の暮らしが厳しい中、「庁舎建設にお金をかけるよりも、暮らしに対する施策の充実を」と多くの声があるが、市長、教育長の見解を求める。</p> <p>ア 通学路に市の責任で街灯設置。</p> <p>イ 県内でもっとも高い老人宅配給食に一般会計からの繰入れで値下げをすること。</p> <p>ウ 「生理の貧困」が問題になっている中、学校の女子トイレに生理用品を常備すること。</p> <p>エ 困窮や持参を忘れた場合の対処として、学校の教室にマスクを常備すること。</p> <p>オ 高齢者の死亡等で飼い主が不在となった地域猫の避妊去勢費用の助成。</p> <p>カ 子ども医療費無償化検討の進捗状況は。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育長</p>	